

- ✓ フリーRレール 好評発売中!
- ✓ 理学療法士からみた手すりハ
- ✓ 建築金物のあれこれ古株指南

それも、これも、
全部現場で
曲げました!

BAUHAUS

Free R rail

フリーRレール

屋外用手すり

NEW 新アイテムも **好評発売中!**



手すりが欲しい
ところまで
寄せられる支柱。

**Sエンド
支柱**



**ベースプレート式支柱用
化粧カバーN**

ご希望にお応えして
スッキリデザイン
タイプを追加!





Sport(エスポート)
CBRディレクター
理学療法士

和田 圭市

玄関の手すりをアップデート

脳卒中右片麻痺の方と外に出て歩行練習をしようとしたときのこと、玄関の手すりについて違和感を感じました。壁に設置された縦手すりを使用していましたが、本当にこの手すりですら安全でしょうか。

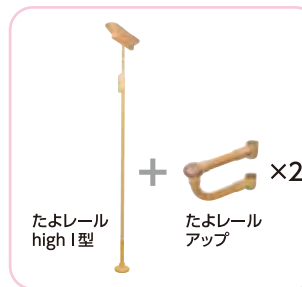
玄関と間くと上がり框の段差解消や縦手すりを壁に設置することをイメージするでしょう。昔ながらの家屋であれば、上がり框に踏み台と“たよレールdan”のような手すりの設置をお勧めします。しかし、最近の家屋やマンションでは段差を解消するほどの上がり框は無く玄関スペースも狭いのが事実です。時代とともに変わる住環境に目を向けて、玄関で求められる動作課題を振り返ることで理想の手すりを考えてみました。

脳卒中右片麻痺の方が玄関で一番難しい動作は靴の脱ぎ履きです。椅子を設置して座って脱ぎ履きするのが理想ですが玄関スペースが狭ければ椅子は設置できないため、麻痺のある右足で片足立ちしてバランスを保ちながら靴の脱ぎ履きをすることになります。転倒しないためには、縦手すりを押したり引いたりして支持基底面から逸脱しそうになる重心線を中心に戻すことでバランスを保ちます。ここで問題になるのは右片麻痺ということです。家から外へ出るために靴を履くときは玄関向かって左側に、外から家へ帰って靴を脱ぐときは玄関向かって右側に手すりが欲しくなります。両側の壁に縦手すりを設置することは難しいため、玄関の真ん中に“たよレールhigh”のような突っ張り式の手すりを設置してもいいのではないのでしょうか。

さらに、玄関の上がり框が低くなくても、わずかな段差で不安に感じる方も少なくありません。段差昇降では上肢の力を使って身体を持ち上げることで、下肢の負担を減らすことが安全につながるため横手すりが最適です。“たよレールhigh”は、上の段と下の段で高さを変えて“たよレールアップ”を付属することで、降段でも昇段でもどちらでも使いやすい波形手すりのよう

な役割も担えます。ここでも右片麻痺の方は降段と昇段では利き手が逆になるため、玄関の真ん中に突っ張り式の手すりを設置することは大きな意味を持ちます。

最近の玄関や対象者の疾患を考えると、突っ張り式の手すりが最適な選択肢になることも増えてきています。住環境と一緒に自分たちの考え方もアップデートしなければ最適な福祉用具の提供はできません。いつまでも玄関といえ壁に手すりを設置する住宅改修にこだわるのではなく突っ張り式の手すりのような福祉用具も取り入れて、その人に最適な住環境にこだわってみましょう。



～建築金物のあれこれ～ 古株指南 第10回



丁番といえばこの形。

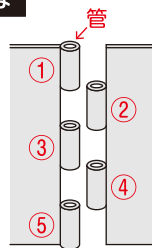
室内ドアによく使われる丁番に【5管丁番】がある。【写真A】のように左右の羽根にそれぞれ3つと2つの合計5つ管(くだ)を差込んで、中に軸を通して上下はフタをしている。材質は主に鉄かステンレス。潤滑に動くように、軸にはグリスを塗布してある。左右の羽根は別々の工程で作っているのに、合わせ目にすき間がないのは地味にすごいわ。さらに合わせ目に摺動性の高い(滑りの良い)樹脂をはめ込んだ【リング入り5管丁番】【写真B】というのもある。取付けは、それぞれの羽根をドア枠とドアにねじ止めする。管の部分はドアが開く側に突き出るから、開ける際に「押す」か「引く」のか迷ったら丁番を見ればいい。

大工さんでもなければ、丁番を実際に手にとって見ることは少ないだろうが、【図ア】のように羽根を180°閉じた時に、すき間ができるように作られている。このすき間は羽根どうしが合わさった時に根元(管の付け根)が詰まってしまって、ドアが閉まり切らないか、あるいは反発して開こうとするのを防ぐためだ。

そんな5管丁番だがドアだけはずせないという欠点もあるんじゃ。ねじをはずせばいいんだけど、ねじの効きが甘くなりそうで、大工さんはやりたくない。そのため新築の家の工事では、ドアの取付けは最後までお預け状態。その欠点を解消するのが「2管丁番」じゃ。次回はその話を。

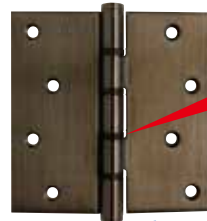
「5管丁番」と「リング入り5管丁番」とは

【写真A】
5管丁番



合計5つの管があるから5管丁番

【写真B】
リング入り5管丁番



リング入りは、管の合わせ目に滑りの良い樹脂(リング)をはめ込んでいる

羽根を閉じた時の図



【図ア】

開いた状態から180°閉じると...すき間ができる仕組みになっている! このすき間があることで、管の付け根部分の詰まりやドアを閉めた時の反発を防ぐのじゃ。

